

コレクション用の記念切手

室蘭言泉学園

匿名で届く 9000枚

室蘭市母恋南町の障害児入所施設・室蘭言泉学園（伊藤裕司施設長）に4日、コレクション用の切手約9千枚が匿名で届けられた。1

964年（昭和38年）の東京五輪や50年の皇太子さまご結婚の記念切手など、コレクターには垂せんのになる切手も多く、伊藤施設



匿名で寄贈された切手のファイルを持つ伊藤施設長（右）ら

長は「気持ちありがたい。自分も切手を集めているが、立派なコレクションだと感心している。」

4日午前9時ごろ、同学園の玄関に紙袋が二つ置いてあり、調べたところ「言泉学園の支援者の気持ちです」などと書かれた紙とともに、6冊のファイルが入っていた。ファイルの中には、1950年代から今年のお年玉切手シートまで、未使用の切手が丁寧に挟まれていた。

同学園では、現在2〜18歳の20人が生活。寄贈された切手は、コレクターへの売却を検討している。伊藤施設長は「善意をうれしく受け止めたい。子どもたちのために生かしたい」と感謝している。（奥野浩章）